

横浜市立大学の 鶴見キャンパス

って、ご存知ですか？

2001年、理化学研究所横浜キャンパスに隣接して鶴見地区に設置された本キャンパスは、当初、大学院大学として、最先端構造生物学の研究と教育を推進してきました。2013年には医学系教員も加えた生命医科学研究科としてリニューアルされ、その後は、学部の理学系教育への参加を開始し、本学の生命医科学教育と研究を牽引する役割を果たしてきました。



鶴見キャンパス全景

恵まれた研究環境の下、理学部入学生の4年次生約40名の卒業研究を指導します。興味のある方は、是非一度、見学にお越しください（裏面参照）。



スーパー・コンピュータ



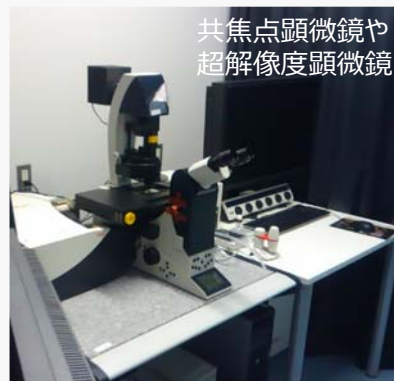
質量分析装置



X線回折装置



核磁気共鳴装置 (NMR)



共焦点顕微鏡や超解像度顕微鏡

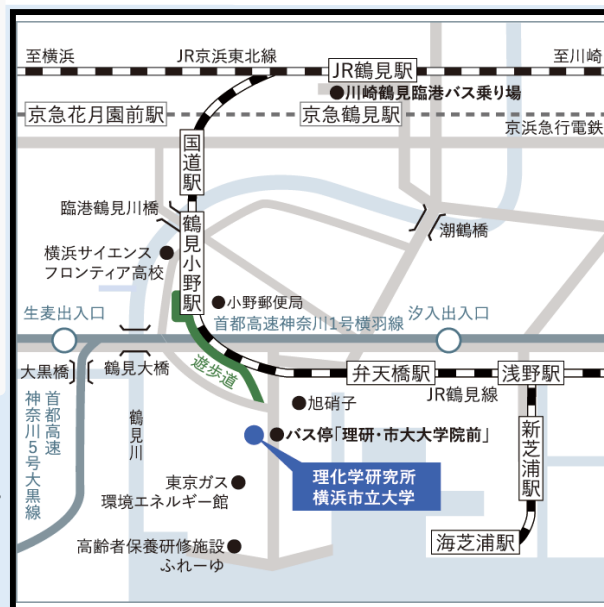


マウスの無菌飼育室

アクセス

- ・ JR京浜東北線「鶴見駅」東口、または京浜急行線「京急鶴見駅」西口下車。
バスターミナル8番から川崎鶴見臨港バス（鶴08系統）「ふれーゆ」行きに乗車、約15分。
「理研・市大大学院前」下車 徒歩1分
- ・ JR鶴見線「鶴見小野駅」下車 徒歩15分

詳しくは、<http://www.tsurumi.yokohama-cu.ac.jp>



横浜市大 鶴見キャンパスをもっと知るために、あなたも、 一般公開（理化学研究所共催）に参加しませんか？

開催日時：2019年9月21日（土）10：00～16：30（入場15：30まで）

場 所：横浜市立大学鶴見キャンパス / 理化学研究所横浜キャンパス

鶴見キャンパスでは、年に一度、隣接する理化学研究所との共催でさまざまなイベントを催し、構内を一般市民の方に公開しています。是非、お気軽にお越しください！

講演会 （～ 横浜市立大学鶴見キャンパス 生命科学基礎講座 ～）

“かたち” から入って考えるタンパク質の “はたらき”

構造生物学研究室 禾 晃和 准教授 15：00～16：00

タンパク質は、複雑なかたちをしたナノマシーンであり、それぞれが役割分担することで命を支えています。そして、タンパク質のはたらきがおかしくなると病気になってしまうこともあります。講演では、精巧にできたタンパク質のかたちとはたらきを具体的に紹介しながら、これらナノマシーンが我々のからだで働くしくみを皆さんと一緒に考えたいと思います。



横浜市立大学入試相談会

教職員が、横浜市立大学の入試制度やカリキュラムについて、お答えします。

体験イベント



研究の現場をみてみよう



スパコンってなあに？
～スパコンを見てみよう～



公開！ 分子の構造を読み解く
NMR装置

この他にもいろいろな形で科学を体験し考える企画を行っています。

隣接する理化学研究所でも、多彩なイベントが目白押しです！

くわしくは、 <https://www.yokohama.riken.jp/openday/> をご参照ください。

